



医療法人徳洲会

札幌東徳洲会病院 広報誌

PUBLIC  
RELATIONS  
MAGAZINE

VOL. 238

すこやか

SAPPORO HIGASHI TOKUSHUKAI HOSPITAL

2026年冬号 2▶4

特 集

耳

～聞こえにくさを  
感じないで～



Take Free

ご自由にお持ちください



禁煙  
NO Smoking

当院は健康増進法第25条に基づき、  
「館内・敷地内全面禁煙」です。ご協力をお願いいたします。



# 2026年 新年あいさつ



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆さまにおきましては平素より多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年2025年は、大阪・関西万博の開幕、女性初の総理大臣誕生など印象的な出来事がありました。一方で、医療界は「2025年問題」が本格化し、経営が悪化する医療機関が増加するなど、厳しい状況におかれました。

当院では、こうした状況下でも、地域の皆さまが安心して医療を受けられるよう、スタッフ一同、邁進してまいりました。

昨年は、ハイブリッドERとスーパーICUが本格稼働し、医療の質を一層高めることができました。加えて、生成AIを診療に導入し、医療DXを加速させ、業務の効率化と負担軽減に成果を挙げました。

さて、2026年の干支は丙午（ひのえうま）。丙は「陽の性質」、午は「力強く、前進する」という意味を持ち、物事が力強く進展する年です。

当院も地域の皆さまに支えられ、2月に開院40周年を迎えるにあたり、これからも「ことわらない医療」「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」を実現すべく、地域社会と連携した「骨太」の医療体制を築いていく所存です。

本年が皆さまにとりまして健康で実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



院長 山崎 誠治

新年あけましておめでとうございます。 昨年も多くの患者さまやご家族の皆さまに支えられ、看護部一同、日々の業務に励むことができました。心より感謝申し上げます。

医療を取り巻く環境は日々変化していますが、私たち看護部は「安心・安全・信頼」を大切に、患者さまの心に届く看護を提供し続けてまいります。 本年は特に「チーム力の強化」と「人材育成」を重点目標とし、職員一人ひとりがやりがいを持ち、成長できる環境づくりに努めてまいります。

当院は2026年2月に開院40周年を迎えますが、これからも地域の皆さまにとって、「いつでも安心して頼れる場所」であり続けられるよう、看護部一同、心をひとつにして取り組んでまいります。 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



看護部長 渡邊 綾

## 特集



# 耳

～聞こえにくさを感じたら～



3月3日は「耳の日」です。「耳の日」は、難聴と言語障害をもつ人びとの悩みを少しでも解決したいという社会福祉への願いから昭和31年に制定され、都道府県ごとに難聴で悩んでいる方々の相談や、一般の方々にも耳の病気のこと、健康な耳の大切さを伝えることを目的に活動を行っています。今回は、聞こえを支え、生活を豊かにするための補聴器について耳鼻咽喉科・頭頸部外科の國部副院長に伺いました。

## すこやか VOL. 238

2026年冬号 2▶4

### I N D E X

#### ご挨拶

院長 山崎 誠治 / 看護部長 渡邊 綾 ..... 2

#### 特集

耳 ～聞こえにくさを感じたら～ ..... 4

#### 医療連携

社会医療法人 耳鼻咽喉科麻生病院 ..... 8

#### 院内紹介

LINE予約をはじめました!  
無料巡回バス 新年度ダイヤ改正予定 ..... 9

#### 部署紹介

医療福祉相談室 ..... 9

#### 健康運動

高齢難聴者とのコミュニケーション法の工夫 ..... 10

#### 健康レシピ

ほっこり優しい 鮭とほうれん草のミルク味噌スープ ..... 11





# 耳

～聞こえにくさを  
感じたら～



## 1 聞こえのしくみと難聴のはじまり

年齢を重ねると目がかすむように、耳の聞こえも少しずつ低下していきます。高齢化が進む日本では、65歳以上の約3人に1人が何らかの聞こえに不自由を感じているとされ、決して珍しいことではありません。耳の奥には「有毛細胞」という音を感じる細胞がありますが、年齢とともにその数が減少したり働きが弱くなったりするため、聞こえにくさが生じます。

加齢による難聴の特徴は、まず高い音から聞き取りにくくなることです。たとえば電子レンジの音や、子どもの声、鳥のさえずりなどが徐々に聞こえにくくなり、さらに進行すると「音は聞こえるのに内容が分かりにくい」、「雑音の中で会話が聞き取れない」などといった症状が現れます。これにより会話が苦痛になり外出を控えるようになることで孤立感が高まり、生活の質（QOL）が大きく低下することもあります。

近年の研究では、難聴のある高齢者は認知機能の低下が進みやすいことも指摘されています。聞こえを守ることは、健康寿命を延ばすためにも重要です。





## 補聴器は「聞こえを取り戻す道具」

加齢による難聴は根本的な治療が難しく、最も一般的な対処法は補聴器による聞こえの補助です。補聴器の最大の役割は、「聞こえにくさによる不便を軽減し、生活の質を維持すること」です。

補聴器は単に音を大きくする装置ではありません。個々の聴力に合わせて調整したり、周囲の雑音を抑えて相手の声を強調したりと、細かな設定が可能な機種が増えています。最近ではスマートフォンと連動して設定を変更できるタイプや、AIによる自動調整機能を備えた機種も登場しています。

ただし補聴器は、メガネのように「つけた瞬間に若い頃のような聴力に戻る魔法の道具」ではありません。難聴が続くと、脳は言葉の聞き取りに必要な処理の一部を忘れてしまうため、補聴器装用後には音に慣れるためのリハビリ期間が必要です。周囲の音が急に増えて驚くことや、雑音が気になる時期もあります。使い始めは短時間から慣らし、少しずつ使用時間を延ばすことが大切です。靴が徐々に足になじむように、脳が新しい「聞こえ」に適応するには時間が必要なのです。また聞こえの状態や不便さは人によって異なるため、専門家の調整を繰り返しながら自分に合った設定を見つけていくことが成功のポイントです。





## 補聴器はいつから使うべき？

補聴器を使い始める時期に「絶対的な基準」はありません。本人が日常生活で不自由を感じたときが適切なタイミングです。このときまず耳鼻咽喉科を受診することをお勧めします。加齢による難聴だと思っていたら、治療で改善できる別の病気が隠れている場合もあるためです。

診察では、聴力検査や語音明瞭度（言葉の聞き取り）検査を行い、難聴の程度を把握します。そのうえで補聴器が適応と判断された場合、補聴器相談医や認定補聴器技能者のいる補聴器専門店で何度か試聴してから購入します。

補聴器には、箱形・耳掛け型・耳穴型・オープンフィッティング型などさまざまなタイプがあり、それぞれに一長一短があります。生活スタイルや使いやすさなどを考慮しながら、自分に合った機種を相談できます。耳鼻咽喉科の中には補聴器相談医を標榜し、認定補聴器技能者と連携して補聴器外来を行っている施設もありますので、相談先として活用してください。





## 補聴器を「使いこなす」ために大切なこと

補聴器を購入して使い始めたものの、「音が響いてうるさく感じる」、「言葉が聞き取りにくい」といった悩みは珍しくありません。しかし多くの場合、補聴器自体が合わないのではなく、調整や使い方が適切でないことが主な原因です。

不快だからと補聴器をつけたり外したりを繰り返していると、脳が新しい音環境に慣れず、聞きとりが改善しにくくなります。毎日一定の時間装用する、慣れてきたら一日中つける、などのリズムを作ることで音に対する脳の順応が進み、快適に装用できるようになります。

また補聴器は、はじめに一度調整すれば終わりという機器ではありません。使用中で不都合があれば、その都度補聴器相談医の診察や認定補聴器技能者による再調整を受けることが、長く快適に使い続けるうえで最も重要です。

補聴器は「聞こえを取り戻すための大切なパートナー」です。装用のタイミング、機種選び、調整、継続使用のいずれも欠かせません。適切に使うことで、コミュニケーションの改善だけでなく、気持ちが明るくなり、社会参加や認知機能の維持にもつながることが期待されます。

聞こえに不安を感じたら、一度、耳鼻咽喉科にご相談ください。あなたに合った補聴器と出会うことで、より豊かで安心できる日常を取り戻すお手伝いができます。

耳鼻咽喉科 頭頸部外科/國部 勇

### 補聴器外来診療案内

聴力の低下を感じた場合、まずは耳鼻咽喉科を受診してください。聴力の低下がどの程度なのか、どのような病気が原因で起こっているのかをチェックし、その結果、補聴器の使用が望ましい方、希望される方は補聴器外来を受診していただきます。必要な検査を行った後に、最適な補聴器の選択・調整・装用指導などを行います。

#### 診察スケジュール

| 受付時間          | 診療開始  | 月 | 火           | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|-------|---|-------------|---|---|---|---|
| 13:00 ~ 15:30 | 13:30 | - | ○ 交替制(予約のみ) | - | - | - | - |

※担当医は急遽変更になることがあります。受診の際はご確認の上、ご来院ください。





## 医療 TOPICS

地域連携施設のご紹介

# つなげる地域の輪

当院では地域の医療機関および介護・福祉施設と連携し、退院後も適切な医療・福祉サービスを受けられるよう地域との連携構築に取り組んでいます。



## 社会医療法人 耳鼻咽喉科麻生病院

web <https://www.jibiazabu.or.jp/azabu/>

### 耳鼻咽喉科麻生病院の特徴と診療方針



### 診療にあたり心掛けていること

当院は、札幌市東区に位置する耳鼻咽喉科・歯科口腔外科専門の医療機関であり、地域に根ざした高度な専門医療を目指しています。1987年開院以来、耳・鼻・喉の疾患に特化し、風邪や中耳炎などの一般的な病気から、突発性難聴や聴神経腫瘍などの高度な疾患まで幅広く対応しています。また、歯科口腔外科開設後は顎変形症手術にも力をいれています。

当院では「治す医療」を掲げ、患者さまのQOL(生活の質)向上を重視した治療を行っています。手術療法と保存療法の両面から最適な治療法を選択し、人工内耳手術や副鼻腔炎手術、頭頸部領域にも対応しています。

年中無休・平日夜間診療を実施し、「病気に休みはない」という理念のもと、いつでも安心して受診できる体制を整備、また、LINEや電話通知による診察呼出しシステムを導入するなど地域医療の中核として専門性と利便性を兼ね備えた医療を追求しています。



ひらつか ひとし  
理事長 平塚 仁志

- 補聴器適合判定認定医
- 埼玉医科大学医学部博士号



### 札幌東徳洲会病院との連携について

単科病院では、全身疾患等と併発した疾患や総合的な診断が必要な場合は受入れが困難なため、そのような場合にご相談させて頂いております。救急対応を含めいつも快く対応していただき、大変感謝しております。今後も地域医療連携室を通して、お互いに協力していける体制を維持・継続させていただきたいと思っております。

### 診療診療

| 診療受付時間          | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00 ~ 12:00    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13:30 ~ 16:30   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 18:00 ~ 19:00 ※ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |   |   |

※歯科口腔外科の夜間診療は【月・木・金のみ】となります。

※歯科口腔外科は予約制です。

### 交通アクセス

〒007-0840 札幌市東区北40条東1丁目1-7

TEL: **011-731-4133** (総合案内)

FAX: 011-731-4986

経路1 地下鉄・南北線「麻生」駅よりお越しの方

地下鉄南北線麻生駅下車(3)(4)番出口より  
徒歩で東へ7分(出口に案内看板があります)

経路2 バスでお越しの方

中央バス北39条東1丁目バス停前

中央バス北42条東1丁目バス停下車、徒歩で南へ2分。





# LINE LINE予約をはじめました!

札幌東徳洲会病院 健診センターでは、札幌市・石狩市のがん検診、人間ドック、一般健診をLINEでご予約できるようになりました。

**LINEなので24時間ご予約できるところが便利!**

まずは、友だち追加をしてご利用ください。

友達追加する

ID : @546cwrjy



スマホで  
最短3分!

二次元バーコードを  
スマホのカメラで  
読み取ってください



## 無料巡回バス 新年度ダイヤ改正予定



無料巡回バスの運行をしておりますが更なる利便性向上を目指し、2026年4月1日より、一部停留所を廃止および新設して運行する予定です。

**花川・屯田・新琴似・麻生方面コース(月・火・木・金)**

【廃止】新琴似まちづくりセンター(新琴似7条4丁目1-3)

【新設】北札幌病院(新琴似9条1丁目1-1)



詳細が決まり次第、ホームページまたは院内掲示物・配布物を更新しご案内いたします。  
(更新:2026年2月16日頃を予定)

## 部 署 紹 介 医療福祉相談室

医療福祉相談室は現在社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)7名で構成されており、各病棟に担当を配置し業務にあたっております。

ソーシャルワーカーの主な業務内容として、転院、在宅復帰等の退院支援、他医療機関との連携及び調整業務、患者さま、ご家族からの心理、社会的な相談に関わることを行っております。

当院では急性期病院という機能上、限られた入院期間の中で退院後の生活など様々なことを決めていなくてはならず、少しでも不安なことを安心につなげリハビリや療養、自宅での生活が送れるよう日々患者さま、ご家族へのご支援をしております。

入院中の患者さまだけでなく、外来通院中の患者さまに対しても、介護保険等制度の利用についてご説明や、地域の医療機関やケアマネージャー、施設の方とも連携し各機関との調整を行っております。

「退院後の療養生活が不安」「介護保険のサービスを利用したいけどどうしたらいいのかわからない」など不安や心配がございましたら医療福祉相談室へご相談ください。



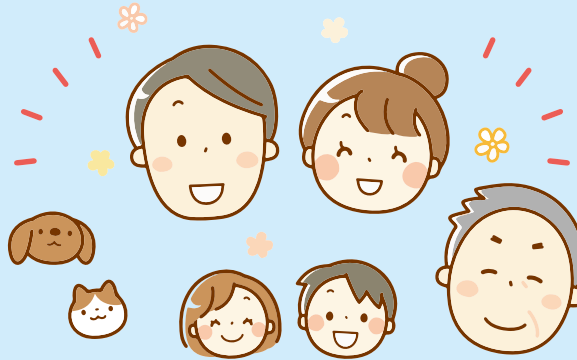


# 高齢難聴者との コミュニケーション法の工夫



高齢難聴の特徴として以下のようなことが挙げられています。

- ・難聴者は小さい音が聞こえない一方で、大きすぎる音には敏感で不快になってしまう。
- ・音としては聞き取れるが何を話しているのか言葉の聞き分けが難しい。
- ・高い音域や子音(特にカ行、サ行、タ行)が聞こえにくく聞き分けられない。



## 高齢難聴者との話し方の工夫の例

- ・闇雲に大きな声で話すのは逆効果。普通よりやや大きいくらいの声を意識。
- ・ゆっくりはっきりと自然な抑揚をつけて話す。
- ・言葉の始まりや語尾を曖昧にせず、文末まではっきりと話す。
- ・細かく区切りすぎず、句読点を目安に間を置く。
- ・口を大きく動かし、唇の動きや口の形をみえやすくする。
- ・複数の人と同時に話さず、1人ずつ順番に。
- ・雑音(新聞紙をめくる音、包装紙や買い物袋を開ける音、台所の水道、ドライヤーや掃除機の音、テレビの音量)や反響の少ない場所で。



## 話し方以外の工夫の例

### 筆談

紙やホワイトボードに言葉を書いてコミュニケーションをとる。  
特に確実に伝えたい場合など勘違いを避けるためにも便利。



### ジェスチャー

数字を指で表す、行動を身振りで表す。



### スマートフォンなどのアプリの活用

音声認識アプリ(声を文字に変換させるもの)で文字を提示する。



ストレスなく円滑にコミュニケーションを図るために参考にしてみてください。



Recipe  
健康  
レシピ

ほっこり優しい

2人分

## 鮭とほうれん草のミルク味噌スープ



冬は体が冷えやすく、粘膜の乾燥も進み、感染リスクが高くなります。

そこで、①粘膜を守るビタミンA②腸を整える発酵食品③抗酸化ビタミンCをバランスよく食べることが、免疫ケアの第一歩です。

今回のスープは、体が温まるだけでなく、免疫に関わる栄養素を“やさしく・おいしく”摂れる冬におすすめの一品です。



※写真はイメージです。

### ★材料 (2人分)

生鮭 …… 1切れ(100g・一口大)  
ほうれん草 …… 1/3束(60g)  
玉ねぎ …… 1/4個(薄切り)  
じゃがいも …… 1個(100g・角切り)  
コーン(冷凍) …… 大さじ2  
牛乳 …… 200ml  
だし汁 …… 200ml  
味噌 …… 大さじ1弱  
塩・こしょう …… 少々

### ★作りかた

- ① 鮭は一口大に切り、塩を少しふっておく。ほうれん草はざく切りにする。
- ② 鍋に玉ねぎ・じゃがいも・だし汁を入れ、中火で煮る。
- ③ じゃがいもが柔らかくなったら、鮭・コーンを加えてさらに煮る。
- ④ 弱火にして牛乳を加える。沸騰させないように注意しながら温め、味噌を溶いて加える。
- ⑤ 最後にほうれん草を加えて軽く火を通し、塩・こしょうで味を整える。

## ～ “寒さに負けない免疫”につながる栄養コラム：ビタミンAと乳酸菌 ～

食事で免疫力を底上げするには、粘膜のバリア力を高めることがとても重要です。

鮭に含まれるビタミンAは、のどや鼻の粘膜を守り、ウイルスが入りにくい体づくりに役立ちます。牛乳は腸内環境を整えて免疫力を支える働きがあり、味噌と合わせると発酵食品との相乗効果でより腸を元気にします。ほうれん草のβ-カロテンやビタミンCは、粘膜保護と疲労軽減に役立ち、寒い季節の体調管理をサポートします。これらの食材を上手に取り入れ、冬の感染症に負けない体づくりを目指しましょう。

管理栄養士 立川 慶太

## 当院の専門外来 ※2026年4月1日より午前の受付開始が7:00から8:00に変更となります。

### 【予約制】不整脈外来

|               |                |           |          |
|---------------|----------------|-----------|----------|
| 【毎週月曜日】       | 受付/07:00～11:30 | 診察/09:00～ | 担当医/谷 友之 |
| 【毎月第1.3.5水曜日】 | 受付/07:00～11:30 | 診察/09:00～ | 担当医/谷 友之 |

### 【予約制】いびき・無呼吸外来

|         |                |           |           |
|---------|----------------|-----------|-----------|
| 【毎週月曜日】 | 受付/13:30～15:00 | 診察/14:00～ | 担当医/後平 泰信 |
| 【毎週土曜日】 | 受付/07:00～11:30 | 診察/09:00～ | 担当医/後平 泰信 |

### 【予約制】弁膜症外来

|         |                |           |           |
|---------|----------------|-----------|-----------|
| 【毎週月曜日】 | 受付/14:00～16:00 | 診察/14:00～ | 担当医/榊田 浩基 |
| 【毎週水曜日】 | 受付/13:00～15:00 | 診察/13:00～ | 担当医/山崎 和正 |

### 【予約制】補聴器外来

|         |                |           |           |
|---------|----------------|-----------|-----------|
| 【毎週火曜日】 | 受付/13:00～15:30 | 診察/13:30～ | 担当医/外来担当医 |
|---------|----------------|-----------|-----------|

### 鼠径ヘルニア外来

|         |                |           |           |
|---------|----------------|-----------|-----------|
| 【毎週火曜日】 | 受付/07:00～11:30 | 診察/09:00～ | 担当医/本谷 康二 |
| 【毎週水曜日】 | 受付/07:00～11:30 | 診察/09:00～ | 担当医/深堀 晋  |
| 【毎週木曜日】 | 受付/07:00～11:30 | 診察/09:00～ | 担当医/齋藤 崇宏 |

### 【予約制】肝臓外来

|         |                |           |           |
|---------|----------------|-----------|-----------|
| 【毎週金曜日】 | 受付/13:00～15:30 | 診察/13:00～ | 担当医/萩原 正弘 |
|---------|----------------|-----------|-----------|

### 【予約制】音声外来

|           |                |           |          |
|-----------|----------------|-----------|----------|
| 【毎週火・金曜日】 | 受付/13:00～15:30 | 診察/13:30～ | 担当医/國部 勇 |
|-----------|----------------|-----------|----------|

### 【予約制】巻き爪外来(保険外診療)

|         |                |           |           |
|---------|----------------|-----------|-----------|
| 【毎週木曜日】 | 受付/13:30～15:00 | 診察/14:00～ | 担当医/大沼 眞廣 |
|---------|----------------|-----------|-----------|

### 【予約制】脳血管内治療外来

|         |                |           |           |
|---------|----------------|-----------|-----------|
| 【毎週火曜日】 | 受付/13:00～15:00 | 診察/13:00～ | 担当医/黒岩 輝壮 |
|---------|----------------|-----------|-----------|



# 外来診療表

## 内科

| 月                        | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------------------|---|---|---|---|---|
| 受付/07:00~11:30 診療/09:00~ | ● | ● | ※ | ● | ● |

※ 予約患者のみ

## 循環器内科

|                          |   |   |   |   |   |   |
|--------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 受付/07:00~11:30 診療/09:00~ | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 受付/16:00~19:00 診療/17:00~ | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

## 消化器内科

|                          |   |   |   |   |   |  |
|--------------------------|---|---|---|---|---|--|
| 受付/07:00~11:30 診療/09:00~ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |  |
|--------------------------|---|---|---|---|---|--|

※ 予約患者のみ

## 炎症性腸疾患センター(IBDセンター)

|                          |   |   |   |   |   |   |
|--------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 受付/07:00~11:30 診療/09:00~ | ● | ● | ● | ● | ● | ※ |
| 受付/12:00~15:00 診療/13:00~ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |   |
| 受付/16:00~19:00 診療/17:00~ |   | ※ |   |   |   |   |

※ 予約患者のみ

## 呼吸器内科

|                          |   |   |   |   |   |   |
|--------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 受付/07:00~11:30 診療/09:00~ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ※ | ※ |
| 受付/16:00~19:00 診療/17:00~ |   |   |   |   | ※ |   |

▲ 肺がん・肺腫瘍専門 ※ 予約患者のみ

## 呼吸器外科

|                          |  |   |  |   |  |  |
|--------------------------|--|---|--|---|--|--|
| 受付/12:30~15:30 診療/13:00~ |  | ● |  | ● |  |  |
|--------------------------|--|---|--|---|--|--|

## 小児科

|                          |   |   |   |   |   |  |
|--------------------------|---|---|---|---|---|--|
| 受付/07:00~11:30 診療/09:00~ | ● | ● | ● | ● | ● |  |
|--------------------------|---|---|---|---|---|--|

## 外科

|                          |   |   |   |   |   |  |
|--------------------------|---|---|---|---|---|--|
| 受付/07:00~11:30 診療/09:00~ | ※ | ● | ● | ● | ● |  |
| 受付/16:00~19:00 診療/17:00~ | ● | ● | ● | ● | ● |  |

※ 予約患者のみ

## 乳腺外科

|                          |   |   |   |   |   |  |
|--------------------------|---|---|---|---|---|--|
| 受付/07:00~11:30 診療/09:00~ | △ |   | ● | ※ | ▲ |  |
| 受付/13:00~15:30 診療/13:00~ |   | ● |   |   |   |  |

▲ 第1・第3・第5のみ △ 新患のみ ※ 予約患者のみ

## 形成外科

|                          |   |   |   |   |   |  |
|--------------------------|---|---|---|---|---|--|
| 受付/07:00~11:30 診療/09:00~ | ● | ● | ● | ● | ● |  |
| 受付/16:00~19:00 診療/17:00~ | ● |   | ● |   |   |  |

## 麻酔科

|                          |  |   |  |  |   |  |
|--------------------------|--|---|--|--|---|--|
| 受付/07:00~11:30 診療/09:00~ |  | ● |  |  | ● |  |
|--------------------------|--|---|--|--|---|--|

新患は紹介患者のみ

※都合により診療時間・担当医の変更や休診となる場合がございます。ご了承ください。  
※健康診断・人間ドックにつきましては、「完全予約制」をとっております。お電話にてお問い合わせください。  
※2026年4月1日より午前受付開始が7:00から8:00に変更となります。



医療法人徳洲会

**札幌東徳洲会病院**

[www.higashi-tokushukai.or.jp](http://www.higashi-tokushukai.or.jp)



〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3-1

Tel.011-722-1110 (代表)

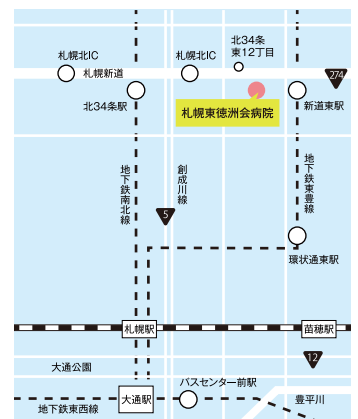
## ACCESS

地下鉄 東豊線 新道東駅 5番出口より 徒歩約5分

地下鉄 南北線 北34条駅にて  
▶中央バス東76・東78で乗車  
 中央バス ▶北34条東12丁目駅で下車 徒歩約1分

自家用車 (高速道路) ▶伏古インター / 札幌北インター 約5分  
駐車場180台収容可能(一部有料)

LINE友だち募集!



## 日本医療機能評価



日本医療機能評価機構  
認定第1647号

当院では、患者さまへ安全かつ高度な医療を提供するため、継続的に改善する取り組みの一環としてこの「病院機能評価」の認証を利用しています。病院機能評価とは日本の病院を対象に、組織全体運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学・専門的な見地から評価を行うツールで、患者中心の医療の推進、良質な医療の実践、理念達成に向けた組織運営から構成される評価項目を用いて評価され、一定の水準を満たした病院は認定病院となります。

※日本病院機能評価機構ホームページ: [jcghc.or.jp](http://jcghc.or.jp)

## 外国人患者受入れ医療機関認証制度



当院では、外国人患者受入れに関する認証制度「JMIP」の認証を取得しています。JMIPとはJapan Medical Service Accreditation for International Patientsの略称であり、日本語での名称は外国人患者受入れ医療機関認証制度です。厚生労働省が「外国人の方々が安心・安全に日本の医療サービスを楽しむことができるように」、外国人患者の円滑な受け入れを推進する国の事業の一環として策定し、一般社団法人日本医療教育財団が医療機関の外国人受け入れ体制を中立的・公平な立場で評価する認証制度です。

※外国人患者受入れ医療機関認証制度ホームページ: [jmip.jme.or.jp](http://jmip.jme.or.jp)